

第6回在宅医療・介護連携推進事業会議 議事録

日 時 平成30年10月18日(木) 午後1時30分より

会 場 江戸川区医師会館 2階 理事会室

在宅医療・介護連携推進事業会議 委員長 小川勝(江戸川区介護保健施設連絡会)

江戸川区歯科医師会 広瀬芳之

江戸川区薬剤師会 大林武史

東京都医療社会事業協会 藤井かおる

江戸川区ケアマネジャー協会 内藤修、三田友和

東京都看護協会 佐々木誠子

江戸川区訪問介護事業連絡会 江面秀樹

江戸川区地域密着型サービス事業者連絡会 梅澤宗一郎

江戸川区医師会 津田隆

地域保健課長 深井園子、健康推進課長 塚田久恵

介護保険課長 坂本崇一郎、事業者調整係長 本城智也、同主査大島秀雄

訪問看護ステーション杉浦、熟年相談室臼井、医師会事務局柴、阿部、荒田、愛木記

決定事項

- ・ケアマネジャー協会は今までのアンケートで該当項目の数を公表し、それに対応する自由意見をまとめる。
- ・ケアマネジャー協会は第1回～第5回までのスライド資料を印刷して対応するアンケート結果と共に配布する。
- ・アンケートに関しては各団体が個別にケアマネジャー協会と相談し、内容を反映させる。そしてそのアンケートを会議体に提出する。
- ・東京都医療社会事業協会の1月の研修日を調整する。
- ・次回、各団体で話し合いたいテーマや課題などを持ち寄る。

議 題

1. 平成30年度多職種連携及び在宅医療介護連携研修一覧【資料1】

内藤氏より多職種連携及び在宅医療・介護連携研修の進捗状況が説明された。今年度の在宅医療・介護連携研修は1月が未定。担当の藤井氏より候補日をご提示いただく。

(1) 第4回多職種連携研修報告書(9月21日)【資料2】

(2) 平成30年度江戸川区委託研修アンケートについて【資料5】

内藤氏より、第4回多職種連携研修のアンケート集計結果が報告された。

今後の「多職種連携研修」で受けたいテーマや講師などをアンケートに含めた。

(内藤) 今回のアンケートでは多職種連携研修で受けたいテーマや講師名などを取りましたが、内容は今までとあまり変わらない結果となりました。今回の研修では多職種間の情報共有が一番大事だとか、ルール作りなどを行なわなければならないと感じてもらえたところが大きかったと思います。

(小川委員長) 資料5のアンケートの書式は第4回のものではないのでしょうか？

(内藤) このアンケートは第4回のものではありませんが、基本的には同じ書式です。

(小川委員長) こちらに2の講師に関する項目がありますが、今までの研修のアンケートでは公表されていませんでしたか。この会議では多職種連携研修がどのように役に立ったか、次回どのような形で活かしていくかを話し合うための会議なので、内容がどうだったかに至り、そこで初めて自由意見でどう活かされているか、というところに繋がると思うのです。参加者の中でどの程度の人が分かり易かったか、難しかったか、問題なかったか、など精査していきたいと思いますので、その辺をまとめて下さい。

(内藤) はい、もう一度集計など見直してみようと思います。

(小川委員長) 今の内容に関して何か意見はありますか？

(塚田) アンケート結果や自由意見などのご報告ありがとうございました。もし可能でしたら簡単に研修のレジメや中身など分かるものがありましたら、アンケート結果と照らし合わせる事が出来ると思うのですが。意見だけ見ると、こういった内容で、こういう自由意見が出たのか、というのが上手く伝わらない。大変でしたら要点だけでも構いません。

(内藤) 要点を纏めるなどは事務局でもかなり大変になりますので、スライドをそのまま持ってきて印刷して配るということなら出来るかと。

(塚田) 負担のない範囲で構いません。せっかくいい意見が出ているので、こういった内容に対して出た意見なのかがわかるとまた次に繋がるのかなと。

(内藤) 昨日までを含めると、5回分のスライドの資料をそのまま配布させていただくことは可能だと思います。

(小川委員長) そこまで踏み込むことでさらに繋がっていくかもしれませんね。他に何か。

(大林) アンケート書式は毎回そんなに変わらないとのことですが、私としても12月に研

修を行うにあたって、スケジュールや講師が事前に分かっているアンケートを配るのであれば「この講師にこういうことが聞きたい」ということを拾いたいです。

(内藤) 4の議題としては、現在使っている書式を叩き台として、今後どういう風に変えていくかだと思います。どう変えていったら今後の研修に活かせるかを検討させていただきます。

(大林) 11月の医療研修でなにを聞きたい、というのを拾えたら、研修内容に織り込んでみたりすると、質問した人も私の質問に対して答えて頂けるので、より良いものにできるかと思います。

(広瀬) 具体的な日にちやテーマ・講師などを簡単に入れてみては如何でしょうか。

(小川委員長) こらから研修を行なう団体は、必ずしもこの書式に沿う必要はないと思います。薬剤師会や歯科医師会でそれぞれ事前に聞きたいことをアンケートに盛り込みたいというものがあれば、ケアマネジャー協会事務局に連絡して下さい。各団体でボリュームや内容がそれぞれ違うと思いますので、個別でやっていただいて、会議の方でお知らせいただければこういう意見もあるなど気づくこともあると思われま。

(内藤) 先ずは11月に口腔ケアの研修がありますので、そちらでのアンケートのご意見などがあればよろしくお願ひします。

(小川委員長) 所属と職種で、所属の部分が大きいのでサービス種別はそのままにして、職種は頭数だけ並べてしまえばいいのではないのでしょうか。もう少しコンパクトにまとめてみてください。

(内藤) 集計しやすいように、現在の書式をもう少し短く出来るかもしれません。

(小川委員長) 藤井さん、1月の研修の日にちはいかかですか。

(藤井) 早急に決めたいと思います。場所のほうは空いているようなので、あとは日にちを決めるだけです。

(小川委員長) わかりました。他に何かありますか。

(坂本課長) 11月と12月の研修の開催通知の裏面に一応今回の申込み研修のテーマと講師について事前に質問等が記入できる場所がありますね。各団体個別でそれぞれ聞きたいことがあれば、こちらで対応することも可能ではないでしょうか。

(内藤) 実際はあまりここに書かれてはいません。送った段階で終わってしまうのです。どうも「申込書」だという認識があるようで。アンケートの自由意見欄には書いて

て下さるのですが。虐待事例、パワハラ事例だとかこういうような研修が今後欲しいとの意見が内々では出ています。

(塚田) アンケートの方は受けたいテーマや講師について、申込書では今回のテーマについて、講師への質問などを聞いているので、聞いている人が違うのかな、とは思っています。

(小川委員長) 10人に1人でも返ってきたらいいのかな。あまり沢山書いてきても困ってしまいます。ではアンケートに関してはこの辺で。次に行きます。

(1) 第1回在宅医療・介護連携研修(11月27日)【資料3】

(広瀬) 前回出していたものに若干手を加えています。事前アンケートに関しては予めメールで内容を送らせていただきました。そちらの集計はいつ頃まとまりそうですか。

(内藤) 担当者が休みで確認はできなかったのですが、集計の途中だと聞いています。

(広瀬) 集計次第、お知らせ頂ければ講師の方に伝えますので、よろしくお願いします。

(小川委員長) 菊谷先生は口腔ケアの第一人者ですから色々な大事な話をしていただけたと思います。

(坂本) 福田先生は訪問歯科を行なわれている先生ですよね。それに関連するお話ですか？

(広瀬) はい、訪問での事例をお話いただく予定です。そこも含めて調整中です。時間配分は菊谷先生が1時間30分、福田先生10分、質疑応答で10分を予定しております。

(小川委員長) わかりました、では次に12月の薬剤師会担当の研修についてです。

(2) 第2回在宅医療・介護連携研修(12月6日)【資料4】

(大林) 案内を作ってくださいありがとうございます。この回は私が講師として研修でお話させていただきます。テーマとしては「薬局薬剤師と協働すれば地域医療にプラスになるので是非ご活用下さい」と言った内容でどんなことが出来るのか、皆様との連携についてお話ししたいと思います。申込用紙の裏に疑問や関心、テーマについてのコメントなど書いてもらえれば内容は更に修正しますので、書いて頂けたらありがたいと思います。

(小川委員長) 申込み際にテーマについて書いてもらえればそれに即した内容でお話いただけるということですね。大林先生は2時間お話されるのですか？

(大林) そうですね、夕方からの研修で皆様お疲れでしょうから2時間はきついですよね。

(小川委員長) 休憩を挟んだり、そこは先生にお任せします。他の講師の方はどうでしょうか？

(内藤) きっちり2時間される方もいれば、中一時間で10分休憩を挟む方もいれば、30分くらい質疑応答の時間を設ける先生もいます。それぞれ先生のパターンがありますね。

(大林) 短縮される方はいますか？90分くらいで終わってしまうとか。質疑がないとか。

(内藤) それはあります。

(小川委員長) 主任ケアマネ対象研修というのは医療・介護連携研修に当たるのですか？

(坂本) 今回の研修は前半のも含めて主任ケアマネ対象研修としてやっている訳ではないのですが、主任ケアマネの更新等の要件に適合する研修として認めています。主任ケアマネ更新は年間で4回研修を受けなくてはならないのですが、この連携研修だけではなく、国や都が行なっている研修も含めてどれでも良く、これを絶対受けなくてはならないというものではありません。

(内藤) ただ、更新研修では区が認めていても、都が認めないといったものもあります。前半のケアマネジャー協会が行なった研修は対象です、医療・介護連携研修も充分該当になると思います。過去にケアマネジャー協会が行なったアセスメント研修、ケアマネレベルアップ研修に関しては何故か東京都は認めないというものもあります。多職種連携などは都も力を入れているからかもしれませんが、間違いなく入っていると思います。

(小川委員長) わかりました、では次の議題です。

2. 平成30年度在宅医療介護連携推進事業「区民向けシンポジウム」について

小川委員長より区民向けシンポジウムの詳細に関して説明。シンポジウムの進行表を医師会事務局阿部が読み上げる。詳細の確認。シンポジストの発言内容の確認。アンケートに関する説明と確認。

(小川委員長) 3年前とほぼ同じ内容のアンケートになりますが、最後の人生の最終段階に関する質問が追加になっています。今後はやはりどういった最期を迎えるかというのを考える必要が出てきている。医療の希望、介護の希望をどの程度までやるのかというのでその人の将来が変わってくると思います。地域包括ケアシステムでは医療や介護ではなく、本人の心構えが一番重要になってくるのではないかと

と田中滋先生は仰っていました。いかに自分で尊厳を持った選択をしていくか、今から意識していった方がいいのではないかと、そういう視点を持ってもらうための質問です。アンケートは纏めてまた皆さんに公表できればと思っています。シンポジウムに関してはこの辺で。では次の来年度に関する話はその他の方でお願いします。

3. その他

(坂本) この会議体で前半の研修に関して振り返っていただきました。後半の研修に関しても大分準備が進んでいっておりますし、区民向けシンポジウムも行なわれます。これから後半の研修を振り返る作業だけではもったいないので、前回 熟年相談室に寄せられた相談事例などを紹介させていただきましたが、11月からは医療・介護の連携を深めていくために研修ではなくてどういったものが必要かを話し合いたいと思います。4月に意見交換をいただいて共通言語や情報共有などが出ましたが、例えばそこに絞るとするならば、介護ノートなどの内容を医療と介護の点からどうブラッシュアップしていくか、などでもいいと思います。絞る内容などは次回からでいいと思いますが、それぞれが思っていること、各団体に抱えている課題などを持ち寄っていただき、その中からエッセンスを抽出して、12月はお休みですが1~3月まで残り3回ありますので、政策提言などにつながる議論をして頂いたらありがたく思います。次回、よろしくお願い致します。

(小川委員長) 次回は皆さんから意見を抽出したいということで、お仕事されている中で、また協会の声など、皆さんが検討したいテーマや内容、課題を寄せていただきたいと思います。あと他にありますか？

(広瀬) 先ほど小川先生からアンケートに関して区民の方にご自身のことを考えて欲しい、とありましたが全く同感です。自助互助という観点でなるべくお一人お一人が疾病予防・介護予防などを自分で行なっていくことが欠かせないと思います。医療介護団体が頑張った結果が誤ったメッセージとして伝わり、いざとなったら誰かがなんとかしてくれるから元気なうちは関係ない、みたいなことになったら本末転倒です。あくまでも区民の方お一人お一人が自分のことを考えて下さい、という適切なメッセージが根底にあるとよいと思います。

(小川委員長) そういうところからこの話が上がってきたのだと思います。終末期の医療というのは皆さん多種多様で、在宅の方、急性期の方、介護施設の方、様々な最

期の迎え方をして、様々な医療を受けます。胃ろうなどもあまりやらない方もいますし、医療業界も自然のままにというのも浸透してきてはいるのですが、やっぱり人によっては色々な考え方がありますので、介護保険サービスそのものもケアプランは自己の意思の元に決定されていくので、皆さんがそういったことを考えていくことが必要なのかと思います。やれるものはやってもらい、助け合えるものは助け合い、その前提としては共助となる社会福祉サービスも公的サービスも限界があります。財政的にも厳しいですし、人的サービスもあと何年かするとお年寄りの方が増えて大変になってくる。急性期医療の病院も在宅に振って来るようになる。介護施設含めて難しくなってきますので、皆さんに考えて頂きたいと思います。では他に、藤井さん。

(藤井) 次回提言の件ですが、いきなりここでとなると上手く話せないこともあるかと思うので事前にメールなどの形で送ってもいいでしょうか？

(小川委員長) 大丈夫です。机上配布でも構いませんし、資料とか用意していただいてもいいです。

(坂本) この会を医師会さんを開いていただいたのは、江戸川区にとって大きなことなのです。この会議は先進的な取り組みだと思っていて、区でも一步一步進めていきたいと思うのでよろしくお願いします。

(小川委員長) ではまた次回よろしくお願いします。

◎次回開催は、平成 30 年 11 月 15 日 (木) 午後 1 時 30 分開催予定